

2013 年度（平成25 年度）入学試験第 2 次選抜試験（小論文試験）

次の文章を読み、後の問題に答えなさい。

【文章省略】

下記の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

[出典：ジョセフ・ヒース（栗原百代訳）『資本主義が嫌いな人のための経済学』（NTT出版、2012年）93～103頁より。出題の都合上、注および表を削除し、下線を付する等の変更を加えた。]

問題

設問 1 筆者によれば、下線部の「税金は本来よくないものという見方、また税率は高いより低いほうが好ましいという考え方が、ばかげていることがわかるだろう」と考えられるのはなぜか。400字以内で答えなさい。

設問 2 筆者の税金に関する国家の経済的役割に関する見方を踏まえつつ、①税率が低すぎることの問題点、および、②税率が高すぎることの問題点を示した上で、③あなたは、どのような税率が適切であると考えるか、800字以上、1200字以内で論述しなさい。